

緑が丘

学校教育目標
自ら考え
正しい行動のできる
心豊かな生徒の育成

緑が丘中学校
学校通信 NO. 9
令和6年1月9日発行

「明るく希望に満ちた年になることを願って」

新年明けましておめでとうございます。2024年が始まりました。今年は例年になく暖かい年末年始となりました。あいにく快晴とはなりませんでしたがなんとか日の出を見ることができました。校歌にあるように私たちの学び舎である緑が丘中学校に朝日が昇り^{ひかり}陽光が走りました。私たちの明るい未来を照らしているようです。今年が皆さんにとって良い年となりますよう願います。



2024年 昇る朝日



今年も元旦に地域の神社へ初詣に出かけました。多くの方が参拝に訪れる神社ではありませんが昔から大切に守られている小さな神社です。昨年1年間世話役として多くの祭事に関わったこともあり思いもひとしおでした。拝殿に向かい今年1年が平和な年になることと家族の健康を祈りました。皆さんは新年を迎えどんなことを考えたでしょうか。

学校生活で3学期は一年間のまとめを行う大切な時です。これまでを振り返り、できたことに自信を持ち、次に進むためにしっかりと足元を固めてください。特に3年生の皆さんは、自分の進路を決める大切なときです。しっかりと自分と向き合い卒業にむけて日々を有意義に過ごしてください。あわせて友との大切な思い出を作してほしいと思います。2年生の皆さんは、4月からは“緑が丘中の顔”となります。最上級生としての責任とは何か、先輩方が築いてこられた伝統を引き継ぎ発展させることを意識し、行動してほしいと思います。1年生の皆さんは、あと3か月で新入生が入学し、先輩となります。毎日の学校生活にしっかりと取り組み、新入生の立派な手本となるよう一層の成長を期待しています。

これからの時期いろいろな意味でしんどくなることもあるかと思いますが。そんな時は、頑張りすぎず、一人で悩まず、みんなで乗り切っていきましょう。

震災の記憶を語り継ぎ備えることの大切さ

元日、のんびりとテレビを見ていると突然画面に「緊急地震速報」の文字が。その後小さな揺れに続いてゆさゆさと横方向の大きな揺れ。ずいぶん長い間揺れていたように感じました。直後、アナウンサーの「大津波警報が出ました！ 今すぐ逃げること！ 高いところに逃げること！」の繰り返し緊迫した発信。少しずつ明らかになる被害の状況。1階が押しつぶされた家屋や火災の映像など阪神淡路大震災の記憶がよみがえり体が震えました。三木市は震度3の揺れで大きな被害はなかったようですが災害はいつやってくるかわかりません。私たちにできることは震災の記憶を語り継ぎ、備え、被害を少しでも小さくすることだと改めて考えました。

亡くなられた方のご冥福と被災地の1日も早い復興をお祈りします。

校長 西臺 士郎

《命の教育講演会(11月30日(木)・
12月5日(火)・14日(木))》

関西国際大学看護学科の齋藤先生をお招きし、
2・3年で「命の誕生」、3年で「性感染症」をテーマに
講演していただき、看護学科の学生の指導のもと、
妊婦体験や育児体験などの実習を行いました。

自分がどのようにして「生」を受け、今まで育てて
もらってきたのかを意識して、これからどのように
生きていけばいいのか、自分の成長や将来のことを
じっくり考える良い機会になりました。



《花壇への花苗植栽(12月15日(金))》

コミュニティスクール事業の一環として、青山地区
連合老人会の皆様のご協力をいただき、体育館西側
とスクールアベニューの花壇に、パンジーの苗を植え
る活動を行いました。

生徒は有志で参加することになっていましたが、
予想を大きく上回る生徒が参加し、老人会の方と
一緒に、一つ一つ丁寧に苗を植えました。春になれば、
きっと美しい花が咲くことでしょう。



1月の行事予定表は、
保護者専用ページに載せています。